

岐阜県教育委員会 様

岐阜県立八百津高等学校
学校長 亀谷 信幸

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 八百津高等学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和3年6月1日(火)
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

会長	山本 峰明	八百津中学校長
副会長	榊間 誠	錦津コミュニティーセンター館長
委員	伊藤 里江	八百津町役場
	渡辺 隆正	錦津小学校長
	佐藤 亜紀	八百津東部中学校長
	西山 史子	八百津町教育相談アドバイザー
	林 善次	八百津高等学校同窓会長
	市岡 恵一	八百津高等学校PTA会長
	宮ノ腰美ゆき	八百津町教育委員
オブザーバー	加藤 大博	岐阜県議会議員
	金子 政則	八百津町長
	佐合 重光	前八百津町商工会長
	社本 勝義	八百津町教育長
学校側	亀谷 信幸	校長
	浅見 和人	教頭
	兼松 義治	教務主任
	増井 克安	生徒指導主事
	志比 顕秀	進路指導主事

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校経営計画について

意見1：学校経営ビジョンには、様々な個性を持つ生徒一人一人を大切に考え、社会に出ていく前に、これだけのことはしっかりと押さえ「地域社会人」としての基礎を作る支援をしていくのだという熱意が感じられる。

意見2：教育指導の重点及び学校経営計画について、教員と生徒がデュアルシステムの良さは

地域企業の社員教育と一体化することであると理解して実践することが重要である。

意見3：「地域の教育力を活かす」ために、教科等で必要な人材について相談をいただければ紹介できるかもしれないので地域に声をかけてほしい。

(2) 教育課程（カリキュラム）の編成について

意見1：単位制となって2年目になるのでその効果や不具合等の記述がほしい。

(3) スクールポリシー策定について

意見1：精神的・身体的に健全な学校生活を中心に据えて考えることができる生徒を育てることが大切である。

意見2「地域社会人」となるためには八百津や可茂地域の先人が歩んできた歴史(努力)を知ることが大切である。

(4) その他

意見1：コロナ禍で行動が制限される中で若者達はストレスを抱くことも多いと思われるが、「シトラスリボン」の製作に取り組むなど弱者を守る方へ目を向けていた。そのような視点を大切に伸ばしてほしい。

6 会議のまとめ

- ・今年度の学校経営計画等について委員の方からの承認を得ることができた。